

シンポジウム「次世代の災害医療」開催要領

趣旨

従来の災害医療は、災害が発生してからオペレーションが開始されてきましたが、災害の発生前から作動させるという新しいコンセプトを提案していきます。さらに未来のまちづくりのあり方、わが国の災害への向き合い方について、広く国民的な議論を促す端緒となる機会を提供します。

日本医師会「救急災害医療対策委員会」では、令和5年9月、有識者や関係省庁担当者の参加も得て同年6月大雨災害の被災地である愛知県豊川市における検証を通じて、気象庁、国土交通省等から発災前に得られかつ防災・減災上有益な情報が少なくないことを学びました。

そして、災害時にも命や健康を守る医療の継続性を担保するためには、医療を都市計画の段階から重要な柱の一つと位置付けて「未来のまち」を創生することが、特に災害の多いわが国において大切です。

さらに、国民が安心できる医療防災のイノベーションとスタートアップの推進の視点に立ち、金融を含めた社会資源をいかに投入するかという、創意工夫を含めた広い視野での国民的議論につなげることを志向するものです。

なお、本シンポジウムは令和6年度都道府県医師会災害医療担当理事連絡協議会を兼ねる。

日時:2024年6月9日(日) 10:00~17:00

場所:日本医師会館 大講堂(WEBとのハイブリッド開催)

企画:日本医師会 救急災害医療対策委員会(山口 芳裕 委員長)

総括アドバイザー : 蛭間芳樹(日本政策投資銀行)

: 玉木伸之(横河電機未来共創イニシアチブ)

対象者:

- ・都道府県医師会災害医療担当理事
- ・都道府県医師会、郡市区医師会関係者、医療関係団体関係者、医療従事者
- ・国、都道府県、市区町村行政関係者
- ・防災、経済界等の医療以外の様々な分野の関係者
- ・さらに、メディア、日本医師会 YouTube 等で広く国民に提供

担当:茂松副会長、細川常任理事、黒瀬常任理事

プログラム:別紙

特設サイト URL:<https://www.med.or.jp/people/jisedai-saigai/> (近日公開)

※右の二次元コードからもアクセスができます

問い合わせ先:日本医師会 地域医療課(chiiki_1@po.med.or.jp)



開会の辞

10:00-10:05 開会あいさつ 細川秀一 日本医師会常任理事

シンポジウムの主旨説明

10:05-10:10 主旨説明 山口芳裕 救急災害医療対策委員会委員長

第1部 座長 細川秀一 日本医師会常任理事

10:10-10:35 豊川豪雨・浸水の経験 小森義之(総合青山病院 院長/豊川市医師会副会長)

10:35-11:00 気象庁からの情報発信 下山利浩(気象庁総務部企画課防災企画室長)

11:00-11:25 ハザードマップと避難確保計画 蘆屋秀幸(国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室長)

11:25-11:50 水害対策の新たなコンセプト提案 土屋信行(リバーフロント研究所審議役)

昼休み

会長挨拶

12:50-12:55 会長挨拶 松本吉郎 日本医師会会長

第2部 座長 加藤孝明(東京大学生産技術研究所教授)

12:55-13:20 気象変動 芳村圭(東京大学生産技術研究所教授)

13:20-13:45 激甚化・増加する自然災害—医療機関に求められる事前の備え
関山健(京都大学大学院総合生存学館教授)

13:45-14:30 気候変動への都市の適応 加藤孝明(東京大学生産技術研究所教授)

14:30-14:55 ディスカッション

休憩

第3部 座長 蛭間芳樹(日本政策投資銀行)

15:00-15:05 オープニング VTR

15:05-15:20 基調講演 蛭間芳樹(日本政策投資銀行)

15:20-15:35 ドローン 空飛ぶクルマ 村井宏行(Sky Drive CSO(最高戦略責任者))

15:35-15:50 自律分散水処理 前田瑤介(WOTA 代表取締役 兼 CEO)

15:50-16:05 遠隔医療 高木俊介(CROSS CYNC 代表取締役 医師)

16:05-16:20 空き情報可視化 河野剛進(バカン 代表取締役)

16:20-16:35 国境なき空間 武永賢(中井駅前クリニック 院長)

16:35-17:00 ディスカッション

閉会の辞

17:00-17:05 総括 茂松茂人(日本医師会副会長)